

平成 27 年度 病害虫発生予察注意報第 3 号

平成 27 年 12 月 24 日
静岡県病害虫防除所長

病害虫名：レタス斑点細菌病（病原細菌：*Xanthomonas axonopodis* pv. *vitians*）
レタス腐敗病（病原細菌：*Pseudomonas cichorii* など）
対象作物：レタス

1 注意報の内容

- (1) 発生が予想される地域：県内全域
- (2) 発生が予想される時期：レタス斑点細菌病 12 月～2 月
レタス腐敗病 12 月～3 月
- (3) 発生程度：多
- (4) 防除時期：12 月～3 月

2 注意報発表の根拠

- (1) 12 月上旬中旬に行ったレタスの巡回調査では、斑点細菌病の平均発病株率は 6.4%（平年 0.7%）、発生面積率は 47%（平年 13%）、腐敗病の平均発病株率は 6.3%（平年 0.04%）、発生面積率は 63%（平年 1%）と平年より非常に多い発生であった。
- (2) 両病害の病原細菌がレタスに侵入するのは強風雨や凍霜害などによって生じた傷口からで、高温多湿条件下で蔓延しやすい。静岡市の 12 月中旬の平均気温は 12.3℃（平年 8.9℃）降水量は 109.0mm（平年 19.5mm）と、平年に比べ高温多湿の条件であり、また、12 月 11 日未明に県内全域で強風雨があり、感染・発病が拡大した。
- (3) 気象の 1 か月予報では、今後の気温は平年より高く降水量は平年より多いと予想されるため、感染・発病に好適な条件が続く可能性がある。

3 防除方法

- (1) 斑点細菌病の発病初期は、外葉の葉縁に水浸状の小斑点を生じることが多い。葉脈に沿って葉縁から葉の基部に向かってくさび状に病斑が進展するが、枯れた部分は小斑点の集まりである（図 1）。腐敗病は、結球葉の中肋や葉縁が褐変したり、外葉全体が腐敗する。病斑部が乾くと表面は褐色の紙のようになる（図 2）。
- (2) 斑点細菌病や腐敗病の発病は主に結球期以降であるが、結球前から薬剤による予防散布をして葉面の病原細菌数を減らす。また、初発生を確認した場合や、強風を伴う降雨、凍霜害にあった場合は速やかに薬剤防除

を行う。複数回散布する場合は、耐性菌の発生を防ぐため、薬剤をローテーション散布する。散布に当たっては「静岡県農薬安全使用指針・農作物病害虫防除基準（ホームページ <http://www.s-boujo.jp/>）」を参照する。

- (3) 多湿条件で蔓延しやすいため、トンネル被覆後は換気に留意し、内部が多湿にならないようにする。換気の際には、風下側の片側換気を行うなど、風当りによる葉の傷みに注意する。
- (4) 腐敗病に感染した場合、輸送中に腐敗が進行することがあるので、収穫株はよく選別して出荷する。
- (5) 周囲への感染拡大を防ぐため、被害株や被害残渣は早期に取り除き、ほ場外で土中深くに埋める。
- (6) 不明な点は、病害虫防除所、農林事務所、農協等に問い合わせる。



図1 レタス斑点細菌病（初期病徴）



図2 レタス腐敗病

問い合わせ先：静岡県病害虫防除所（TEL：0538-36-1543）